

平成 29 年度事業報告書概要版

(社会福祉法人静岡市しみず社会福祉事業団)

1 事務局：昭和 57 年 4 月設立

1 主たる事業

本年度も市より各施設に係る管理業務を受託し、障害者総合支援法に基づく法定施設及び受託施設の円滑な運営を図るとともに、経理、出納、物品の取扱い等の各種事務、財産の維持保全、予算、決算事務を行った。

また、指定管理事業者として利用者の視点に立ち、長年培ってきた支援技術と福祉サービスの充実を図るとともに、経営の健全化と安定化を図った。

2 評議員会、理事会の開催状況

会議名	開催回数	延出席人数	主な審議事項
評議員会	2 回	9 人 (書面表決 5 人)	・平成 28 年度事業報告及び各種会計収支決算の認定 ・役員を選任 ・施設管理に係る協定の締結 ・平成 29 年度各種会計収支補正予算 ・平成 30 年度事業計画及び各種会計収支予算 ・苦情解決結果状況報告 ・理事長専決事項報告等
理事会	3 回	17 人 (書面表決 1 人)	

3 監事監査

平成 29 年 5 月 31 日、監事 2 人による平成 28 年度関係の決算書類及び付属関係書類、関係諸帳簿との照合、係数検査等の監査を受け、適正、かつ正確に行われたとの報告を受けた。

4 第三者委員への苦情・要望内容の報告会

平成 29 年 5 月 31 日、各施設に寄せられた苦情・要望内容について第三者委員 2 人に報告したが、個々の苦情解決並びに直接、施設運営適正化委員が受け付けた案件はなかった。

5 職員配置状況

正規職員 37 人、嘱託職員等 30 人の計 67 人を各施設にそれぞれ配置し、業務に万全を期した。

6 職員研修

内部講師による階層別研修を計画的に実施したほか、虐待防止や交通安全に関する全体研修、専門研修、視察研修等に積極的に参加し、資質の向上に努めた。

7 防災訓練

年 3 回、事業団全施設を対象に、地震による火災発生を想定した初期消火訓練や避難誘導訓練、津波避難訓練等の総合防災訓練を実施した。

また、一昨年度から実施している大規模な災害を想定した宿泊を伴う防災訓練には、事業団利用者並びに地域住民の方、104 人が参加した。

2 静岡市清水みなとふれあいセンター（身体障害者福祉センター）[昭和57年4月開設]

在宅障害者を対象に機能訓練や創作的活動を行ったほか、障害者団体が実施する事業の運営協力、一般市民を対象にした施設見学や福祉体験の受入れ、静岡市から委託を受けた手話奉仕員養成講座、点字講習会、要約筆記者養成講座の開催等、各種事業を実施した。また、利用者等へのサービス向上のため、他市の身体障害者福祉センターの視察を行った。

1 機能訓練及び創作的活動内訳

事業	内容	実施延回数	参加人員
機能訓練 社会参加促進	書道・ペン習字・パソコン 陶芸等 計7教室	70回	864人
体力増進	卓球・ボッチャ・水中運動・グ ラウンドゴルフ等 計8教室	124回	1,461人
合計		194回	2,325人

2 委託事業内訳

事業	内容	実施回数	参加人員	参加延人員
手話奉仕員 養成講座	清水区 [昼の部]	46回	17人	569人
	葵・駿河区 [夜の部]	46回	43人	894人
点字講習会	清水区会場	6回	5人	24人
	葵・駿河区会場	6回	6人	31人
要約筆記者 養成講座	手書きコース	12回	5人	57人
	パソコンコース	12回	4人	48人
合計		128回	80人	1,623人

3 施設利用等内訳

区分	件数
運動広場	58件
多目的ホール	17件
合計	75件

3 静岡市清水ひびきワーク（生活介護事業所・定員：20名）[昭和57年4月開設]

利用者の生活を支援するために個別支援計画を作成し、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう生産活動又は創作的活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

また、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後の受入れ、個別支援計画に基づいた支援の対応を行う等、概ね計画どおり進めることができた。

1 利用者の状況(平成 29 年度末利用契約人員：17 人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
64 歳	34 歳	46.9 歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
18.0 年	22.2 年	19.5 年

(3) 身体障害者手帳調べ

等級	1	2	3	4	5	6	計
人数	10 人	4 人	2 人	0 人	1 人	0 人	17 人

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0 人	0 人	4 人	4 人	8 人	1 人	17 人	4.35

(5) 入退所状況

入所	退所
0 人	1 人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
268 日	3,126 人

2 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
外岡作業所	箱折(ケーキトレー、菓子の箱折り、ひも通し)
蒔田紙器(株)	ダンボール型抜き、組み(薬品梱包用)
安藤紙業(株)	分別作業

(2) 収入状況

年度別	平成 29 年度	平成 28 年度	増減
収入金額	939,426 円	1,044,887 円	△105,461 円

(3) 工賃支給状況(月額)

最高	最低	平均
17,700 円	220 円	4,382 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
生活支援	月2回程度	16回
選択活動、外出活動 (ボウリング・ランチタイム・JR利用等)	随時	15回
スポーツフェスティバル	5月	1回
バスハイク(アピタ)	10月	1回
県障害者スポーツ体験	6月・11月	2回
新春もちつき大会	1月	1回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習、市民ボランティアを積極的に受け入れた。

4 静岡市清水うみのこセンター(母子療育訓練センター)[昭和57年4月開設]

心身に障害があると思われる乳幼児の早期発見、早期療育を目的に、療育相談や指導、生活自立への支援等を行うとともに、地域の関係機関と共通理解のもと連携して発達が気になる子どもとその保護者を対象に、一人ひとりの状況に応じた発達支援、子育てに努めた。

昨年度末から、慶應義塾大学の心理学研究室で作成したコミュニケーション発達を育てるビデオを用いたペアレントトレーニングを開始し、利用時・保護者から好評を得るなど、概ね計画どおり進めることができた。

1 登録者実人員 185人

2 利用状況内訳

区分	訓練	交流保育	特別指導	訪問指導	相談業務	計
延人数	2,757人	216人	50人	169人	2,088人	5,280人

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
特別支援学校・学級見学	随時	14回
年長児母親教室 その他の母親教室	随時	9回
親の会(シンデレラクラブ)	随時	6回
父親参加会	10月・2月	2回
新春もちつき大会	1月	1回

この他、避難訓練等を実施した。また、他機関、関係団体等に対して、必要に応じて職員を派遣し、連携を図った。

5 静岡市清水うしおワーク（多機能型事業所・定員：50名）[昭和58年4月開設]

定員30名の生活介護事業と定員20名の就労継続支援B型事業の多機能型事業所として事業を行った。

また、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延713人を受入れ、個別支援計画に基づいた支援の対応を行う等、概ね計画どおり進めることができた。

1 生活介護事業(定員30名)

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、創作的活動や生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

1 利用者の状況(平成29年度末利用契約人員：35人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
68歳	20歳	43.9歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
19.2年	20.9年	19.6年

(3) 療育手帳調べ(単位：人)

区分 性別	A	B	計
男	23	2	25
女	9	1	10
計	32	3	35

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0人	0人	4人	21人	8人	2人	35人	4.2

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	0人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
270 日	7,916 人

2 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
ベイプレス	チラシ配り
(有)鈴恵工業	プラスチック製品の袋詰め
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み

(2) 収入状況

年度別	平成 29 年度	平成 28 年度	増減
収入金額	2,548,601 円	2,372,294 円	176,307 円

(3) 工賃支給状況 (月額)

最高	最低	平均
14,805 円	863 円	4,827 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
レク活動(ボウリング・カラオケ等)	随時	24 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
中部地区交流スポーツ大会	6 月	1 回
バスハイク(ミルクランド)	7 月	1 回
オレンジマラソン大会	11 月	1 回
一泊旅行(伊豆方面)	10 月	1 回
クルージング	12 月	1 回
新春もちつき大会	1 月	1 回
外食活動	3 月	1 回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習を積極的に受け入れた。

2 就労継続支援B型事業(定員：20名)

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

1 利用者の状況(平成29年度末利用契約人員：19人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
68歳	35歳	49.3歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
15.4年	15.6年	15.5年

(3) 療育手帳調べ(単位：人)

区分 性別	A	B	計
男	6	10	16
女	0	3	3
計	6	13	19

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	無	1	2	3	4	5	6	計
人数	10人	0人	0人	2人	6人	1人	0人	19人

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	0人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
272日	4,134人

2 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
ボカシ作業	ボカシ製造、袋詰
ニッケー工業	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)まんげつ	教材等の袋詰め、チラシ折等
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み

(2) 収入状況

年度別	平成 29 年度	平成 28 年度	増減
収入金額	4,855,222 円	4,453,766 円	401,456 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
45,039 円	5,189 円	19,656 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
レク活動(ボウリング・カラオケ等)	随時	19 回
園芸市出店	4 月・10 月	3 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
中部地区交流スポーツ大会	6 月	1 回
オレンジマラソン大会	10 月	1 回
一泊旅行(伊豆方面)	11 月	1 回
新春もちつき大会	1 月	1 回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習を積極的に受け入れた。

6 静岡市清水うなばら学園（生活介護事業所・定員：60名）[平成3年4月開設]

定員60名の施設で、利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、それぞれの特性や能力を活かして、健全な社会生活を営むことが出来るよう、生活、学習、作業支援を実施した。

生産活動については、木工、手芸の自主製品の他、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延352人を受入れ、個別支援計画に基づいた支援の対応を行う等、概ね計画どおり進めることができた。

1 利用者の状況(平成29年度末利用契約人員：59人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
49歳	21歳	34.4歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
13.5年	19.8年	15.1年

(3) 療育手帳調べ(単位：人)

区分 性別	A	B	計
男	44	2	46
女	13	0	13
計	57	2	59

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0人	0人	0人	11人	28人	20人	59人	5.2

(5) 入退所状況

入所	退所
1人	0人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
269日	12,887人

2 生産活動

(1) 内容

内容	事業所名等	内 容
請負作業	安藤紙業(株)	CDソフト等の分解・分別
	リサイクル	アルミ缶つぶし・卵の殻肥料づくり
自主作業	手芸	刺し子・袋物等
	木工	花台・キーホルダー・プランターアクセサリー等の切り出し

(2) 収入状況

年度別	平成 29 年度	平成 28 年度	増減
収入金額	699,858 円	613,915 円	85,943 円

(3) 工賃支給状況 (月額)

最高	最低	平均
1,580 円	30 円	772 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
個別活動 (いちご狩り・プール・ハイキング等)	随時	27 回
班活動 (外食・バーベキュー、創作活動等)	随時	39 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
中部地区交流スポーツ大会	6 月	1 回
宿泊活動(2 班)	9 月	2 回
秋の遠足(もちや)	10 月	1 回
クリスマス外食(富士ロゼシアター)	12 月	1 回
新春もちつき大会	1 月	1 回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習を積極的に受け入れた。

7 静岡市清水なぎさホーム（生活介護事業所・定員 20 名）[平成 8 年 4 月開設]

在宅の重度障害者を対象に、日常生活訓練を主体とした支援を行い、身辺自立の促進及び家庭介護の軽減を図った。

また、「ライフサポート(日帰りショート)の充実」では、1回の受け入れ人数を4人から5人に増やし実施。「音楽療法の充実」では、音楽発表会に利用者全員(16名)で出場した。「他事業所との連携」については、サポートセンターそら(生活介護事業所)との合同運動会の実施やスポーツ交流会を持つ等積極的に取り組み、おおむね計画どおり事業を進めることができた。

1 利用者の状況(平成 29 年度末利用契約人員：16 人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
49 歳	20 歳	34.3 歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
11.9 年	7.2 年	9.9 年

(3) 身体障害者手帳調べ

等級	人数
1 級	13 人
2 級	1 人
無	2 人
合計	16 人

※利用者全員療育手帳(A)を所持。

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人	14 人	16 人	5.8

(5) 入退所状況

入所	退所
0 人	0 人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
268 日	3,147 人

2 主要行事等

行事名	実施月	回数
外出活動(七夕まつり・登呂博物館等)	随時	10回
誕生会、クッキング	随時	9回
季節行事 〔 合同運動会、成人を祝う会 もちつき大会、節分、ひなまつり 〕	随時	5回
音楽療法	毎月	12回
リハビリ指導	随時	3回
県障害者スポーツ体験	6月・11月	2回
ミニコンサート	随時	3回
ライフサポート事業	随時	7回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学・専門学校生の実習を積極的に受け入れた。

3 送迎サービス

送迎を希望する利用者(16人)に対して、毎日、個別送迎を実施した。

8 障害者相談支援センターわだつみ(相談支援事業) [平成24年11月開設]

1 特定相談支援・障害児相談支援

静岡市の指定を受けて特定相談支援事業と障害児相談支援事業を行った。

利用者が、そのライフステージに応じた自立した日常生活、又は社会生活が営むことができるよう、利用者やその家族からの相談に応じ、サービス等利用計画の作成及びモニタリングを行い、地域の障害児(者)とその家族の福祉の向上に努めた。

1 相談の状況

区分	サービス等 利用計画	モニタリング	本書 モニタリング
特定相談	195件	203件	2件
障害児相談	60件	59件	4件
合計	255件	262件	6件

2 障害者等相談支援 平成13年10月事業受託・清水区を担当

静岡市の委託事業で、静岡市障害者等相談支援事業実施要綱に基づき、相談支援事業、障害児等療育支援事業、障害者虐待防止センター事業の各業務を実施し、障害児者等とその家族の福祉の向上を図った。

1 相談支援事業

(1) 相談支援実績

区 分		実 績
開設日数		244 日
相談支援	実人数	627 人
	延件数	2,319 件
個別支援計画	作成件数	0 件
	作成支援件数	1 件
個別支援会議	開催回数	46 回
	参加回数	50 回
自立支援協議会 開催・参加状況	事務局会議	12 回開催
	区連絡調整会議	0 回開催
	全体会議	3 回参加
	市自立支援会議	4 回参加

(2) 支援方法内訳(単位：件)

区分	訪問	来所 相談	同行	電話 メール	個別支 援会議	関係 機関	その他	計
身体障害	2	0	0	4	2	25	0	33
知的障害	259	73	57	669	81	1,095	1	2,235
精神障害	16	3	4	12	0	16	0	51
計	277	76	61	685	83	1,136	1	2,319

(3) 相談延件数の支援内容別内訳（単位：件）

内 容	件数	内 容	件数
福祉サービスの利用等	1,151	生活技術	61
障害や病状	38	就労	275
健康・医療	139	社会参加・余暇活動	4
不安の解消等	169	権利擁護	86
保育・教育	29	障害者虐待	10
家族関係・人間関係	91	その他	98
家計・経済	168		
		合 計	2,319

2 障害児等療育支援事業

内 容	回数	参加人数
訪問による療育指導	2回	60人
外来による専門的な療育相談、指導	4回	33人
療育技術の指導	4回	14人
療育機関に対する支援	2回	28人
合 計	12回	135人